

# ハンゲショウが見頃です

6月20日撮影（花の中海）



タコの立体花壇(ベゴニア)

## ハンゲショウ（半夏生）

科名：ドクダミ科  
原産地：日本、中国など  
草丈：50～120cm  
見頃：7月上旬まで

淡路島国営明石海峡公園では、花の中海で、約5,000株のハンゲショウ（半夏生）が見頃を迎えています。ハンゲショウは、葉の半分が白く化粧をしたように色づく様子や、雑節の半夏生の頃に咲くことなどが名前の由来といわれています。関西では、夏至から数えて11日目の半夏生の頃（7月2日）にタコを食べる習慣があります。東浦口ゲート前では、今年もハンゲショウのすぐそばで、ゆでだこ色になったタコの立体花壇がご覧いただけます。

また、花の丘道では、巨大なアザミのようなアーティチョークが見頃を迎えています。アーティチョークの蕾は、ヨーロッパでは身近な食材としても知られています。

淡路島国営明石海峡公園の「ハンゲショウ」、「アーティチョーク」を是非ご紹介くださいますようお願いいたします。



## アーティチョーク

科名：キク科  
和名：チョウセンアザミ  
花の大きさ：直径約15cm  
見頃：7月上旬まで

## お問い合わせ先

明石海峡公園管理センター 佐藤・玉置

ホームページ：<https://awaji-kaikyopark.jp>

★最新情報は“明石海峡公園”で検索。

★本資料カラー版はHPからもご覧になれます。

